

和光



発行 〒894-0007 鹿児島県奄美市名瀬和光町1700番地

国立療養所 奄美和光園

電話(0997)52-6311 FAX(0997)53-6230

令和2年9月1日
(2020)

第118号

■表紙	1
■マスクの寄贈を受けました	2
■鹿児島県看護協会会長表彰を受賞して	2
■職員全員分の布マスク作成	3
■奄美和光園交流会館(歴史資料館)竣工	4
■「和光園おさんぽ展覧会」	4～5
■ハンセン病問題を正しく理解する週間	6

■令和2年度 第1回 消防訓練	7
■介護員研修を行って	8
■ふれあい和光塾開講式	9
■食堂掲示作品を囲んで	10
■新人紹介	11
■奄美和光園の歴史	12
■NST News Letter	13～14
■令和2年度診療統計	14
■人事異動・和光園日誌・編集後記	14

基本理念

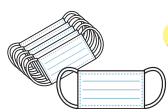
私たちは、入所者一人ひとりの生命の尊厳と人権を守り、豊かな自然環境につつまれた穏やかで心豊かな療養生活と、安全で安心できる医療を提供します。



名瀬港

基本方針

1. 入所者の終の棲家として心穏やかな暮らしを支えることを基本とします
2. 入所者自治会とよく話し合い 入所者本位の運営に努めます
3. 入所者一人ひとりの日々の変化にきめ細かく対応いたします
4. ハンセン病による後遺症や合併症の対策をしっかりと行います
5. 入所者が高齢化していることを念頭に置き 健康保持の活動や生活を支える医療さらには感染予防・認知症対策に重点を置きます
6. 地域医療とも連携し 適切で標準的な医療の提供に努めます
7. ハンセン病に対する正しい知識を普及させるため 啓発活動に努めます
8. 開かれた療養所となることを目的に地域社会との交流促進に努めます
9. 入所者の健康と安全な生活に貢献できるようすべての職員の質の向上に努めます



マスクの寄贈を受けました



新型コロナウイルスの日本上陸以降、感染者数の急速な増加に伴い都市部を中心としてマスクが品薄状態となりました。コロナ禍は瞬く間に日本各地に飛び火し、マスクは感染防止のための必須用品となりました。需要増大に伴ってマスク不足も全国へ波及し、各地の医療機関にも大きな影響を与えました。和光園でもマスクの安定的な供給が途絶え、急遽職員にはマスクの使用制限や布マスクの作製をお願いしました。

そんな中、5月12日に奄美市保健福祉部から3名の職員が来られ、奄美市長並びに大和村長、宇検村長、瀬戸内町長、龍郷町長の奄美大島市町村長から3,000枚のマスクが寄贈されました。絶対的なマスク不足を危惧している時でしたので、有り難く頂

戴しました。翌日園内放送を通じて入所者へお知らせし、その後福祉室職員が入所者宅を訪問して頂いたマスクを直接配布しました。非常事態宣言の中、緊張した市民生活が続いていた時期ですし、園内でも入所者の感染防止のため職員全員が徹底した感染予防対策を講じながら職務を行っている最中でした。

全島あげて感染防止対策に取り組んでいることに意を強くすると共に、和光園も地域の一員であることを肝に銘じ、コロナ対策に最大限の警戒を続けていく必要があることを強く感じました。

園長 加納 達雄

鹿児島県看護協会長表彰を受賞して

令和2年5月23日に鹿児島県看護研修会館にて鹿児島県看護協会通常総会が開催されました。その中で看護協会長表彰授賞式があり、表彰をして頂きました。

これまでに大島地区看護協会の地区役員や教育委員長、地域ケアサービス委員として活動して参りました。活動の一つである進路ガイダンスでは、看護の道に興味を持つ中高生を前に看護の魅力を語り、また施設訪問では病院と施設を結ぶ看護師の役割を学ぶことができました。多くの先輩方から指導を頂きながら日々奮闘して参りましたが、今回看護協会長表彰という栄誉を頂きましたことは大変光栄であり、心より感謝申し上げます。

今回の受賞を今後の励みとして、これまでに培ってきた看護経験を入所者の皆

さん、また、地域の方々の健康生活の実現に貢献できるよう今後も努力していきたいと思えます。

不自由者棟
看護師
牧原 悦子



職員全員分の布マスク作成

新型コロナウイルスの影響でマスクが不足し、職員の力を総動員（事務職員・福祉職員・不自由者棟介護員・病棟介護員協働）し、布マスクの作成を行いました。色とりどり、鮮やかな手作りマスクが完成し、全職員に配布することができました。

新型コロナウイルスの脅威はとても恐ろしいですが、どんな事態になっても職員が

力を合わせて一丸になった時の力は凄いなと改めて感じました。作成時は大変でしたが、終わってみるととても楽しい時間になりました。

ご協力頂いた全職員に感謝です。

病棟 介護員 黒木 貴雄



奄美和光園交流会館（歴史資料館）竣工

令和2年5月20日、奄美和光園におけるハンセン病の貴重な歴史を残すため、ハンセン病に関する正しい知識の普及および啓発、地域との交流を目的として交流会館が竣工した。

全国13の国立のハンセン病療養所の資料館としては、最も遅い竣工となった。建物は1階建てで、広さは10m×8m＝80

m²である。場所は、正門から真っすぐ奥の方に約500m進んだ行啓記念公園（高倉公園）の奥である。

令和2年8月3日に開館セレモニーを開催したが、新型コロナウイルス対応のため、一般公開の予定は立っていない。

福祉係（学芸員） 岩辻 好夫



魅力あふれる「和光園おさんぽ展覧会」

令和2年6月から7月にかけて「和光園おさんぽ展覧会」という新しいイベントが開催されました。今年度は、新型コロナウイルスの影響で奄美市の夏祭りも中止になり、和光園でもミニ運動会などのレクリエーションが全て中止になりました。これまでに経験したことのない状況となり、何かできることはないかと看護サービス委員会で議論し、生まれた企画でした。

和光園各所に各部門が自由に作品を展示し、入所者の方々が散歩をしながら見て回るという内容で、治療棟は〈奄美和光園の歴史〉、病棟は〈きょうむん農園 いきいき老人クラブ〉〈わきゃ島どう〉、ゆらいの郷は〈奄美のとりと花〉、給食・

栄養は〈栄給写真館〉、リハビリテーション室は〈それぞれの日常〉、福祉室・事務は〈運動会〉というテーマでした。

楽しいゲーム、歴史や風景、努力あふれるアート作品、奄美パークにもありそうなハブと闘牛フィギュアなどバラエティに富んだ作品展示で、入所者の方々にも好評で魅力あふれる展覧会となりました。総師長室からは、各部門の総力を称える表彰のメッセージを掲示し、みなさんにもこやかに見ていました。

看護サービス委員
不自由者棟 看護師 大黒 将志



ハンセン病問題を正しく理解する週間

県では、厚生労働省が「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」として定めた6月22日を含む日曜日からの1週間を「ハンセン病問題を正しく理解する週間」と定めています。(令和2年度は6月21日～6月27日)

この週間に併せて、県庁・鹿児島市役所の2カ所においてパネル展示を行い、自治会メッセージや奄美和光園の歴史に関する写真、これまでのふれあい和光塾の様子などを展示させていただきました。御協力ありがとうございました。

(例年、奄美市と共催で、市役所・奄美図書館においても展示を実施しておりま

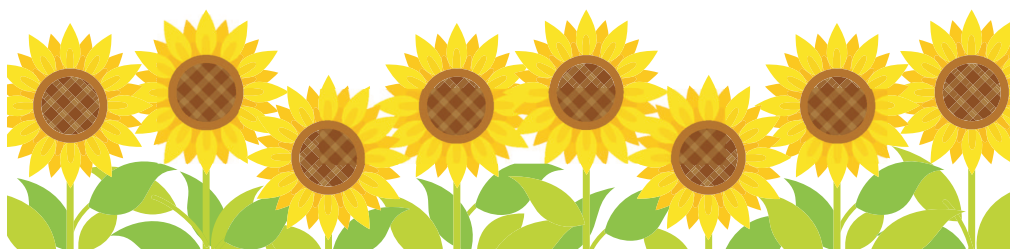
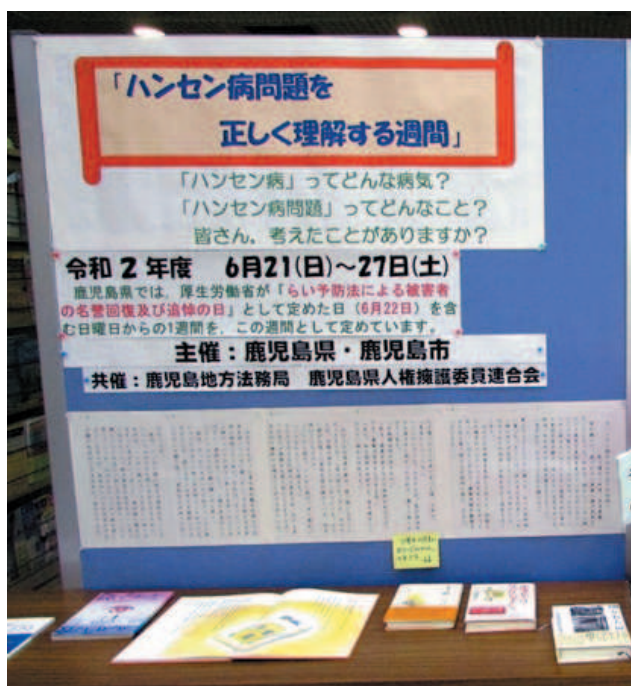
すが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できませんでした。)

昨年は、家族訴訟の判決で、家族の人権についても改めて重大性が認識されました。また、新型コロナウイルス感染症に関しても、感染者への差別的な状況がハンセン病問題の歴史と重なる部分もあると言われていいます。差別・偏見のない社会を作るためには、一人ひとりが何ができるのかを考えることが必要だと感じています。

鹿児島県

くらし保健福祉部

健康増進課 宮ノ下 洋美



令和2年度 第1回 消防訓練



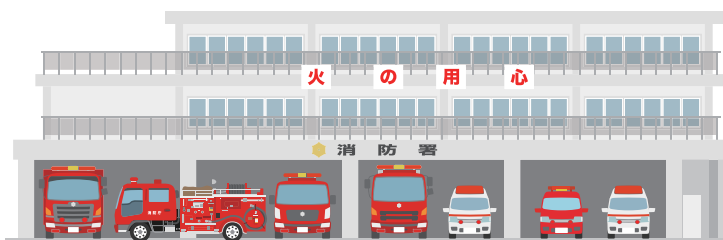
令和2年度第1回消防訓練を7月9日13時30分から実施しました。

今年度から事務当直を一部委託したことに伴い、連絡体制の確認のため、夜間想定での訓練を行いました。雨が降らないか心配だったのですが、機器のトラブルなどもなく、無事に訓練を終えました。消防職員の方、園長からの講評を、有事の際には生

かしていきたいと思います。

最後に、消火器・屋外消火栓の使用に関して、消防職員の方から説明がありました。屋外消火栓は実際に放水訓練も行い、水の勢いの強さが印象に残りました。

庶務班長 清田 和博



介護員研修を行って

今年度は新型コロナウイルスの影響により、様々な行事が短縮や中止となり、園外へ出かける機会も少なくなっていました。しかし、そのような中でも、看護課では日々の生活に楽しみを取り入れたいと考え、「どうしたら入所者の楽しみが実践できるか」をテーマに、介護員全員参加の研修を実施しました。事前に自分の考えやアイデアを付箋に書いて持ち寄り、全員の言葉を大きな紙1枚に自由に貼り付け、テーマに沿って楽しく創作しながら考えました。完成した4グループそれぞれの内容を見ると、「入所者の思いを知る」「私らしく生きるを支える」「入所者と共に」「職員皆の力が重要」という言葉が大きく書かれており、介護員一人ひとりの入所者への思いや、楽

しみの実践のために必要な事がわかり、共有できました。後日、総看護師長室前に立派な掲示板が完成し、園内職員のみならず研修成果を見られるよう掲示しました。見ていただいた職員からは、「心に残る素敵な言葉がたくさんありますね。」など嬉しい評価もいただき、今後の看護課職員教育への励みにもなりました。

入所者のみなさま、やりたいことや叶えたいことがあったら、ぜひ職員と一緒に挑戦しましょう！！お手伝いさせていただきます☆

病棟 副看護師長 川畑 恵理



**ONEチーム！
Together！
あなたが頼り！**

**連携！
入所者と職員が
楽しむ！**



**ワイワイ
笑顔！**



“農業体験で交流深める” 【ふれあい和光塾開講式】

奄美市内の親子と和光園入所者が、農業体験を通じて交流する令和2年度「ふれあい和光塾」の開講式がコロナ禍の影響により、例年とは少し遅れて6月27日(土)に園内農園で開講されました。

ふれあい和光塾は入所者との交流とハンセン病の理解を深めることを目的とし本年度で17回目を迎えました。本年度の塾生は、19家族74人で、同園敷地内の農園を借り、農作業を通じて親子の絆を深めながら入所者との交流を図ります。

当日は、梅雨の最中にもかかわらず、晴天に恵まれました。式の初めに、同塾で農作業の指導に積極的に携わっていて5月に

逝去されました入所者Sさんに黙とうがささげられました。次に、加納達雄園長が「入所者と触れ合って体調に留意したうえで、いつでも自由に園に来てください」と挨拶をしました。

開講式後は、各自の畑で割り当てられた農地の区画を耕し、毎年参加している塾生は、去年以上の収穫を、初めて参加する塾生は少しでも多くの収穫を願いつつ作業を行い又、今以上に入所者との交流を深めることを目標に終了致しました。

福祉室 有川 清四郎



食堂掲示作品を囲んで

コロナウィルスの脅威のため、自粛生活を余儀なくされている入所者の皆さんに、少しでも夏の気分を味わってほしい、海で遊んでいる気分になってほしい、少しでも笑顔が増えてほしいと、スタッフ一丸となって取り組んだ不自由者棟の食堂ホールのディスプレイです。

海がきれいな離島で育ってきた入所者の方々にとって、夏といえば『海』!!!

海の風景の中で遊ぶ人々や海の生き物。その顔にはスタッフの写真を張り付け、見るたびに面白可笑しく笑える仕上がりとなっています。

入所者の皆さんとスタッフと一緒に眺めて笑い、楽しむ機会も増え憩いの場となっています。

不自由者棟 看護師 赤尾 優子



新人紹介



内科医長 矢野 隆子 (やの たかこ)

大阪市からまいりました矢野です。奄美大島との縁は、強いて言えば名前の隆が西郷さんからつけられたことでしょうか。

私は生まれも育ちも大阪で、自然に飢えておりました。といいながら、虫と爬虫類は苦手です。コロナ禍で一番感じたのは、人間の経済活動を抑えれば、空気がきれいになる、ということです。人間は地球にとってお邪魔虫かもしれません。自粛要請の期間は公害喘息の患者さんは発作が出なくなりました。薬より環境が大事、というのはアフガニスタンで殉死された中村哲先生が示してくださいました。

もともと文学や心理をやっていた関係で、医学の訓練は足りません。透析部で研修したのも色んな患者さんを診られるから、という理由でしたが、機械音痴で大変苦労しました。患者さんとのふれあいは楽しかったですが。

父のクリニックを継いで約20年、何でも内科(無い科)を自称していました。動物からお年寄りまで診ました。ええ加減、ということです。

個人的には環境オタクで、3.11の時は日本医師会の環境保健委員会にいましたので、勉強になりました。大阪府医師会では、水銀処理問題、受動喫煙防止条例だけはできたかな？あとは雑用係に徹しました。

家族全員が発達障害という、トレンディな環境におりましたので、皆様にご迷惑をお掛けすると思いますが、悪気はありませんので、よろしくお願いいたします。

不自由者棟 看護師 蘇 海恵 (いける うみえ)



皆さま、はじめまして。この度7月22日より不自由者棟で勤務させていただくことになりました蘇 海恵と申します。出身は奄美市名瀬です。入ったばかりで、不慣れなこともあり、皆さまへご迷惑をおかけすることもあると思いますが、少しでも早く信頼関係を築けるよう精一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



一 奄美和光園の歴史 一

(2) 奄美和光園開園、保田耕園長着任

戦時中¹の昭和18年2月に、奄美和光園は竣工した²。昭和18年4月5日厚生省告示第百三十八号によって名称が和光園と決定され、翌日付けで邑久光明園医務課長の保田耕が園長に昇任しており³、当園の開園日は、昭和18年4月5日開園となっている。

昭和18年5月27日、保田園長ほか職員7名と家族21名が奄美大島へ来島した。その日は、嘉義丸が潜水艦により撃沈された日であったこともあり、支庁の渡技手を合わせて2～3人の出迎えという淋しさだった⁴。

保田園長は着任直後から園の整備や検診に奔走した。厚生省では、奄美和光園の初代園長になり手がなく、陸軍省に応召を免除してもらう条件をつけたが、陸軍省は厚生省との約束を忘れたようである。保田園長は就任わずかにして応召出征し、中国湖北省武昌方面の軍病院に勤務中、腸チフスとマラリアに感染し戦病死（昭和20年5月27日）した⁵。

旧外島保養院誌P188より

（前略）窮余の策として奄美大島の診療所、和光園と命名された。その初代園長として赴任する人は陸軍省に交渉して召集を免除して貰う。だから、戦地に召集されて行く気で和光園長と成って行く人はいないと探し求められた。こゝに浮かび上がったのが光明園の保田医務課長であった。経歴なり年配なりで申分ない候補者と、召集される代わりに奄美に行ってくれ、和光園長となってくれと、インガを含められては仕様もない。好まざるまゝに保田耕は否応なく奄美の和光園長として赴任したのであった。時に昭和十八年四月。

しかるに何たる事ぞ。陸軍省は厚生省との約束を忘れてしまったものか。或いはま

た、戦局ますますはげしくして軍医また甚だ不足したものか。奄美に行ってタッタ5ヶ月ほどしか経たない和光園の保田園長に召集の赤紙が急配達された（十八年9月）。召集は陛下の大命とある。万歳々で送り出される、否応なしである。保田園長が召集先は大阪の連隊に軍医としてである。（後略）



やすだ こう
保田 耕 先生

1907～1945年。

和歌山県生まれ。
そとじま おく
外島保養院（邑久
光明園）を経て、
初代奄美和光園園
長となる。

福祉係(学芸員) 岩辻 好夫

1 昭和6年(1931)年9月18日満州事変、昭和12(1937)年7月7日日中戦争(志那事変)、昭和16(1941)年12月8日太平洋戦争(大東亜戦争)

2 創立70周年記念誌,国立療養所奄美和光園,平成25年(2013),p3

3 光仰ぐ日あるべし 南島のハンセン病療養所の五〇年,柏書房 p66-68

4 同上, p68-70

5 保田耕,旧外島保養院誌p26-27,桜井方策 楓昭和7,8年代の医局展望P188(R3.4.6現在国立療養所邑久光明園 社会交流会館保管資料)

NST News Letter

No.14

お口と全身の健康

皆さんはお口の知識についてどれくらいご存じですか？現在は歯科だけでなく、医科の方でも“**お口の健康は全身へ影響する**”という事で重要視されています。その為、今回のNSTニュースレターではお口と全身の健康についてお話させて頂きたいと思います。

①「お口の細菌」について

私たちのお口の中には**約700種類**もの細菌が存在しており、**歯垢 1g 中には1000億**という細菌が含まれます。その中でもよく知られているのが虫歯菌や歯周病菌ですが、最も恐ろしいのが**歯周病菌**です。歯周病菌は歯茎から血管を通して全身に回り、様々な場所で悪さを引き起こします。

「歯周病菌が
引き起こす症状」

脳梗塞

狭心症、
心筋梗塞

動脈硬化

誤嚥性肺炎

糖尿病の
重症化

など

②「お口の衰え」について

加齢に伴いお口も衰えてきます。まずはどの程度ご自身のお口に不具合があるのか、じっくり考えてみましょう。

お口の衰えチェック

- ① 飲食時にムセる
- ② 食べこぼしがある
- ③ 歯ごたえのある食べ物が食べられない（肉、たくあん、りんごなど）
- ④ 以前に比べて食事に時間がかかる
- ⑤ 口が乾燥しやすい
- ⑥ 定期的な歯科検診を受けていない

いくつ当てはまったでしょうか？

この質問の中で1つでも当てはまる場合は、既にお口の衰えが起きていると思われます。ほんの些細な症状ですが、見逃してしまう事で

- ① **口から食事が摂れない**
- ② **栄養不足になる**
- ③ **筋力の低下（歩行困難）**

という負の連鎖が起き、最終的には寝たきり状態に近づく可能性が高くなってしまいます。

ささいな不具合は放置せず、半年に1回は定期歯科検診を受けましょう。

③「噛む事」について

お口が衰えないようにする為には日頃から噛む事を意識し、鍛える必要があります。噛む事によって唾液の量が増え、風邪やインフルエンザの予防につながります。

よく噛む事の効用

- ①肥満の予防 ②味覚の発達
 ③言葉がはっきりする
 ④脳の活性化(認知症予防) ⑤虫歯・歯周病の予防
 ⑥発ガン物質の抑制 ⑦胃腸の働きを促進

※歯を失くして部分入れ歯や総入れ歯の方がいらっしゃると思います。入れ歯だから…と諦めず、**柔らかい物でも噛む**事が大切になります。

以上のようにお口は健康の入り口であり、病気の入り口でもあります。今日から出来る事として **①毎日の歯磨き、②よく噛む、③定期的な歯科受診** をして頂くとより皆さんが健康に近づけると 생각합니다。歯磨きの事や、お口の事など気になる事がありましたら身近な看護師さんや歯科衛生士にご相談下さい。NST委員会は皆さんがいつまでも健やかで心豊かな生活が送れるよう、支援したいと思っています。

歯科衛生士 松原 ゆかり

令和2年度 診療統計

	外来診療					特記		入院診療		
	初診(人)	再診(人)	合計(人)	1日平均(人)	診療実日数(日)	紫外線療法(件)	手術/生検(件)	入院(人)	退院(人)	延患者数(人)
4月	128	262	390	32.5	12	59	4	0	0	0
5月	142	218	360	32.7	11	55	2	0	0	0
6月	175	295	470	33.6	14	67	7	0	0	0
7月	155	284	439	36.6	12	72	8	0	0	0
8月	137	283	420	35.0	12	67	9	0	0	0

人事異動

(令和2年5月1日～令和2年8月31日)

R 2. 5. 31	安原 寿代	看護師	任期満了(臨時的任用)
R 2. 7. 1	矢野 隆子	内科医長	採用
R 2. 7. 20	鈴倉 佳世	看護師	任期満了(臨時的任用)
R 2. 7. 22	蘇 海恵	看護師	採用(臨時的任用)

和光園日誌

(令和2年5月1日～令和2年8月31日)

R 2. 6. 27	園外ふれあい和光塾開講式
7. 9	消防訓練
8. 3	奄美和光園交流会館開館式
8. 18～	七夕会

編集後記

7月20日に奄美地方の梅雨明けが発表されました。これは1951年の観測開始以来、最も遅いものだそうです。

今年の夏は、新型コロナウイルスの影響により、様々なイベントが中止になりました。広報誌の記事もかなり少なくなるのではないかと心配でしたが、皆様のアイデアで充実した内容になったと思います。ご協力ありがとうございました。

編集委員 清田 和博